

札幌市のバランスシート

バランスシートとは…

市が所有している資産がどれくらいあり、その資産を形成するために要した負債や税金などの財源はいくらなのかを示すのが「バランスシート」です。

左の「借方」では、これまで市が建設してきた学校や道路に使ったお金など（資産の累計額）が分かります。右の「貸方」では、それらの資産についてすでに取得している金額（正味資産）と、これから支払わなければならない額（負債）がどれくらいあるのかが分かります。

行政コスト計算書とは…

バランスシートが示す資産や負債を除き、行政のさまざまなサービスを提供するのに、どれくらい費用（コスト）がかかっているのかを示しています。

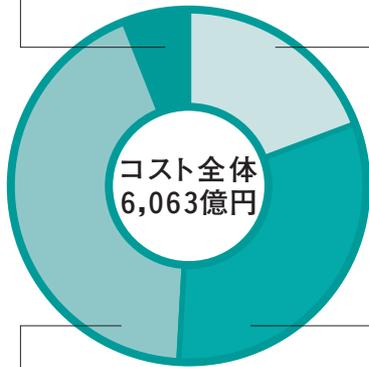
※一般会計と特別会計の一部を合算した「普通会計」で算出しています。

▼平成14年度行政コスト計算書

(平成14年4月1日～平成15年3月31日)

その他のコスト
 ◎市債、一時借入金の利子、不納欠損額
 360億円 (5.9%)

人にかかるコスト
 ◎人件費、退職給与引当金繰入など
 1,167億円 (19.3%)



移転支的コスト
 ◎扶助費、補修費、繰出金など
 2,618億円 (43.2%)

物にかかるコスト
 ◎物件費、維持補修費、減価償却費など
 1,918億円 (31.6%)

市民一人当たりでは… (平成15年3月31日現在の人口)

◎人にかかるコスト 6万円
 ◎物にかかるコスト 11万円
 ◎移転支的コスト 14万円
 ◎その他のコスト 2万円

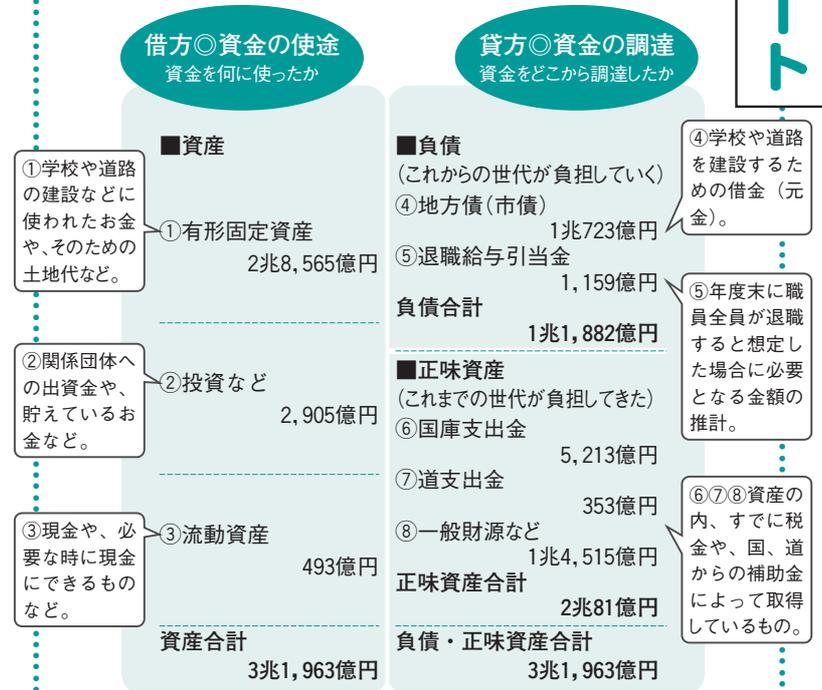
コスト合計 33万円

平成14年度の コスト合計は6,063億円で、一人当たりでは33万円です。

▼普通会計のバランスシート

(平成15年3月31日現在)

資産や負債などの状況



市民一人当たりでは… (平成15年3月31日現在の人口)

借方	資産	貸方	負債合計
①有形固定資産	155万円	負債合計	65万円
②投資など	16万円	正味資産合計	109万円
③流動資産	3万円	負債・正味資産合計	174万円
資産合計	174万円		



そんな厳しい状況の中でも、さまざまな課題に取り組んでいかなければなりません。市では、市役所内部の見直しをより積極的に進めることはもちろんですが、限られたお金の使い道や、市民や企業の方との役割分担などについて、市民の皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。



今後はどうなるの？

今後、市のお財布の中はどうなっていくのかを、一般会計について予想してみました。平成十六年度予算をつくるに当たって一定の条件下で計算したところ、平成十六年度から十九年度の各年度に生まれる不足額は、百億円から三百億円となることが見込まれます。